

■科目の基本情報

・科目番号	01EG161・162・163
・授業科目名	感性認知脳科学特講1・2・3
・授業形態	1(講義)
・標準履修年次	1・2年次
・開設学期	01EG161・162・163: 通年
・曜時限等	随時
・教室	総合研究棟D マルチメディア室
・単位数	各1

■担当教員等

・担当教員名	感性認知脳科学専攻前期全教員
・ティーチングフェロー(TF)	N/A
・ティーチングアシスタント(TA)	N/A
・オフィスアワー等(連絡先含む)	各教員に確認

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間の感性や心と脳機能とを関連づけようとする基礎研究にとって、感性認知脳科学およびその周辺領域の研究内容、手法、最先端の知見を広く習得することは必要不可欠であり、本専攻の教育目標と合致する。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

感性認知脳科学およびその周辺領域の研究内容、手法、最先端の知見等を習得する。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

感性認知脳科学およびその周辺領域の研究者を講師として招き、研究内容、手法、最先端の知見等について、より専門的に学ぶ。

・キーワード

感性情報学、感性デザイン学、感性人間工学、比較認知科学、行動神経科学、精神機能障害学、システム脳科学、神経分子機能学、脳型情報処理機構学

・授業計画 (Time Table)

最先端の研究動向を鑑み、随時必要な講義をおこなう。

・履修条件 (Prerequisite)

感性認知脳科学およびその周辺領域に興味を持ち、積極的にdiscussionに参加すること。

■ 成績評価方法

・評価方法

出席態度とdiscussionでの発言内容

・割合

出席態度とdiscussionでの発言内容を総合的に評価する。

・評価基準

講義の中で述べられたことを理解し、自身の考えをdiscussionの中で適切に述べられたのか。

■ 受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

各回の講師が指定する論文、配布資料。

・授業外における学習方法

各回の講師が指定する論文をあらかじめ読んでおくこと。

・受講生に望むこと(Recommended Background)

積極的にdiscussionに参加すること。

・欠席の場合の措置について

研究に関するイベント(学会等)に参加する場合は欠席扱いとしない。

・備考